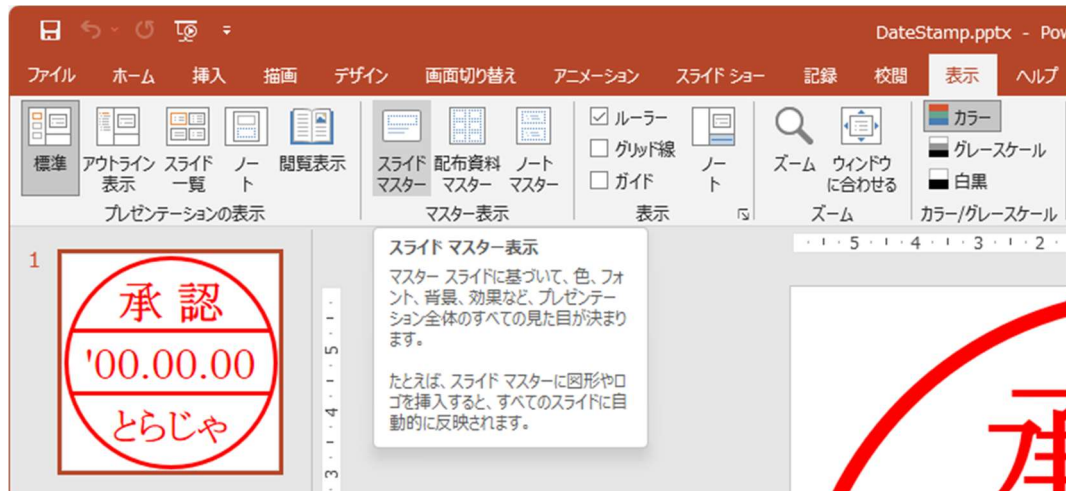


# 印影テンプレート作成の手引き

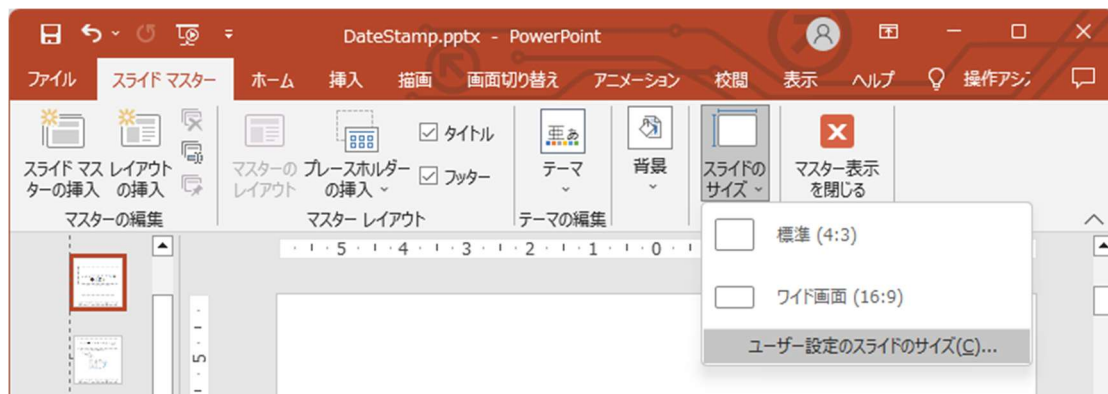
April 7, 2023

## ☆ スライドサイズの設定

表示⇒スライドマスター を選択して…

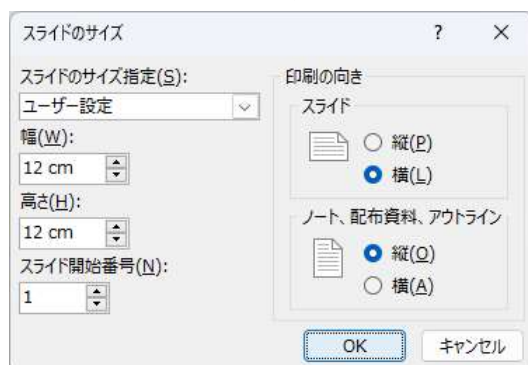


スライドのサイズ⇒ユーザ設定のスライドサイズ、を選択する



以下のダイアログが出るので、希望するスライドサイズを設定する

※ お勧めは 24 の倍数、なのでサンプルは 120 mm を指定している（しかも A4 縦の幅に上手く収まるので…）

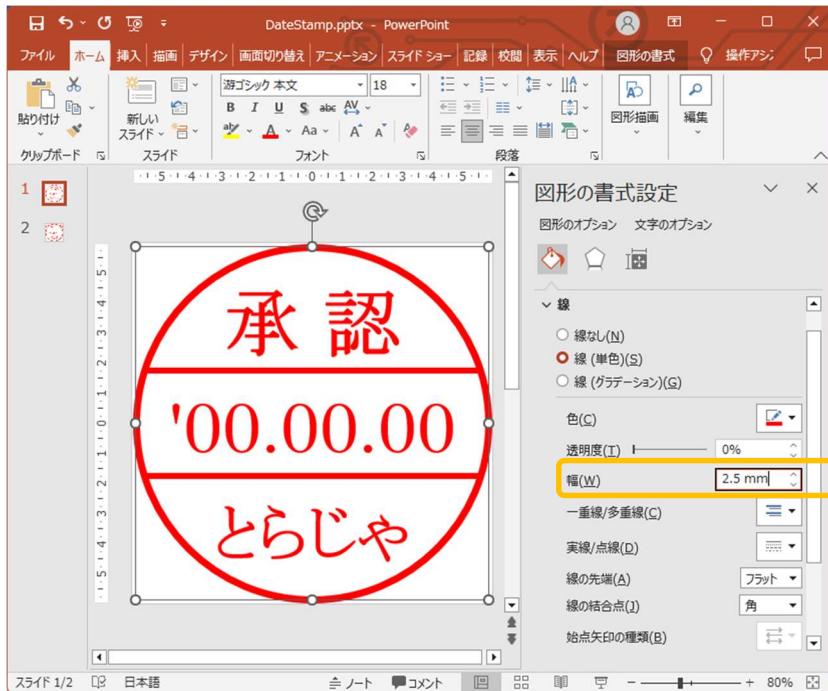


OK を押したなら、マスター表示を閉じる

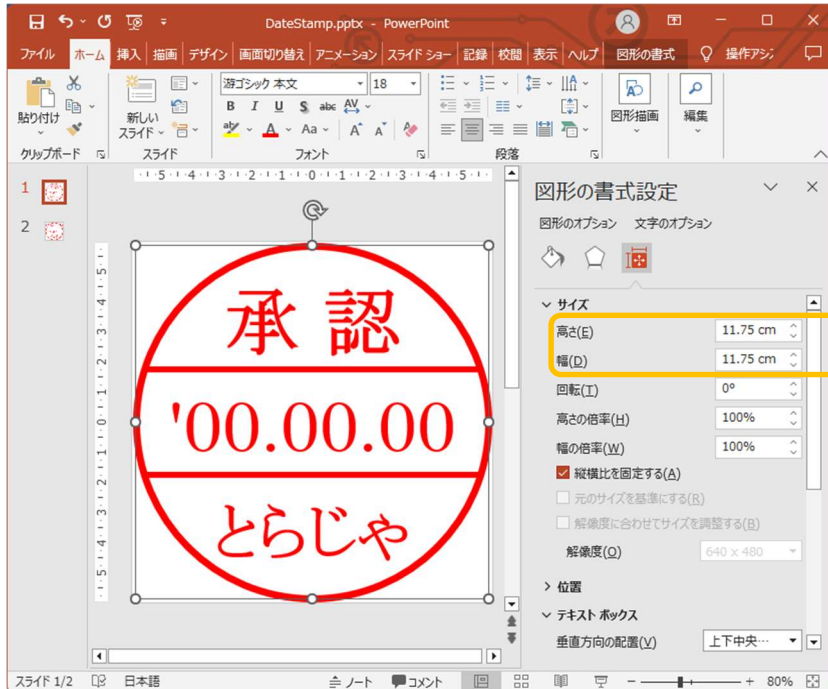


## ☆ テンプレートの定義

全ての印影を構成する部分がスライド内に収まるようにし、周りに余白ができない方が望ましい  
例えば、ハンコの丸縁部分の厚みを 2.5 mmとした場合…



縁円の直径は  $120 \text{ mm} - 2.5 \text{ mm} = 11.75 \text{ cm}$  として、スライド中央に配置する  
∵ 線は両側に太っていくため、この指定で当初の要件を満たす画像になる



スタンプを構成する要素が、テンプレートに内接する円（楕円でも可）内に収まる場合は、形状は丸形、  
内接する円よりも外側に要素が存在する場合は、形状を角型として取り込む必要がある  
サンプルの「承認.svg」は丸形、「イカ耳.svg」は角型として取り込む例である

## ☆ 日付フィールドの配置

横書きのテキストボックス内に'00.00.00 と云うテキストが含まれている場合、そこを日付フィールドと認識する（日付フィールドは無くても構わない）

この時、フォントの種類は問わないが、全て1バイトの文字列である事

特に、先頭は必ず「1バイトのアポストロフィ」になる様な配慮が必要

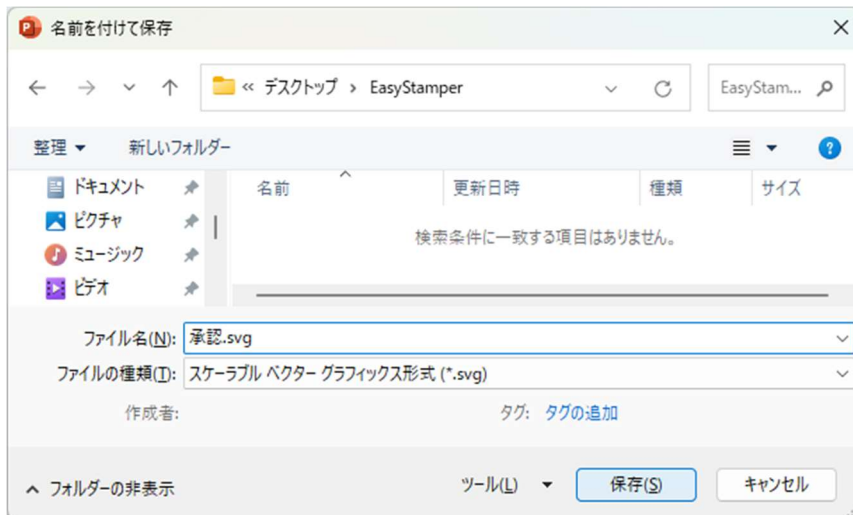
PowerPoint なので（多分気を利かせて）ヒゲ付きのアポストロフィになるが、直後に **Ctrl+Z** を押す等して1バイトのアポストロフィになる様にする（サンプル pptx を流用するのが良いかも知れない）

(良) '00.00.00                      (不可) ’00.00.00

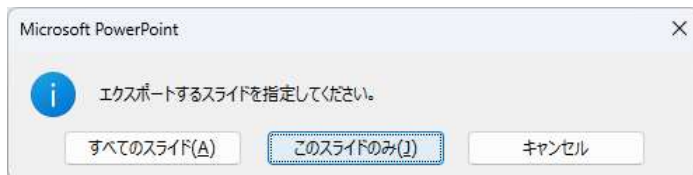
## ☆ 印影データ（svg ファイル）の出力

出力対象スライドが開いた状態で、ファイル⇒名前を付けて保存から「名前を付けて保存」ダイアログを表示させる

ファイルの種類で「スケーラブル ベクター グラフィックス形式(\*.svg)」を選択し、ファイル名に任意の名前を入れて「保存」ボタンを押下



以下の確認ダイアログが出るので「このスライドのみ」を選択



指定した場所にできた svg ファイル（印影データ）が、Easy Stamper の Preference 画面で取り込めるファイルとなる

以 上